

【第2回】外国人雇用における人間関係とトラブル対応

外国人労働者を受け入れる中で、「コミュニケーションがうまくいかない」「指導が伝わらない」「思わぬトラブルが起きる」といった課題を感じることがあります。

文化や価値観の違いを理解しないまま対応すると、ハラスメントと受け取られるケースもあります。

ここでは、職場で起こりやすい人間関係の課題やハラスメントへの対応について、実務的な視点からまとめました。円滑な職場づくりの参考としてご活用ください。

ハラスメント防止と円滑なコミュニケーションのポイント

Q1 外国人とのコミュニケーションがうまくいきません

A1 言語だけでなく、文化や考え方の違いも影響します。やさしい日本語を使い、短く分かりやすく伝えることが効果的です。また、理解できているか確認することも重要です。

Q2 注意しても改善されません

A2 内容が正しく伝わっていない可能性があります。具体的な行動や改善点を明確に伝え、必要に応じて繰り返し説明することが大切です。視覚的な資料を使うことも有効です。

Q3 外国人同士のトラブルが発生しました

A3 当事者双方の話を丁寧に聞き、事実関係を整理することが重要です。文化や価値観の違いが背景にある場合も多いため、一方的に判断せず中立的に対応する必要があります。

Q4 ハラスメントを防ぐためにできることは？

A4 社内ルールの明確化や、ハラスメントに関する周知が重要です。日頃からコミュニケーションを取りやすい環境を整えることで、未然防止につながります。

Q5

文化の違いによる誤解を防ぐには？

A5

日本のルールや考え方を前提とせず、背景や理由を含めて説明することが重要です。相手の文化も理解しようとする姿勢が、信頼関係の構築につながります。

Q6

外国人が孤立しているように見えます

A6

職場での孤立は離職につながる可能性があります。定期的な声かけや面談を行い、相談しやすい環境を整えることが重要です。

Q7

セクハラ・パワハラの相談を受けた場合の対応は？

A7

まずは内容を丁寧に聞き、事実関係を確認することが重要です。感情的な対応を避け、必要に応じて専門機関と連携しながら適切に対応することが求められます。

Q8

外国人への指導で気をつけることは？

A8

曖昧な表現を避け、具体的に伝えることが重要です。また、理解できているかを確認しながら進めることで、誤解を防ぐことができます。

Q9

職場環境を改善するにはどうすればよいですか？

A9

定期的な面談や意見交換を行い、現場の声を把握することが重要です。小さな課題でも早めに対応することで、大きなトラブルを防ぐことにつながります。

人間関係やハラスメントの問題は、早期の対応が重要です。

安心して働ける職場環境づくりのために、日頃からの取り組みを大切にしていきましょう。